

フクロウ

Ryukyu scops owl / *Otus elegans* / Ryukyu konohazuku / リュウキュウコノハズク

リュウキュウコノハズクは 19～22 c mほどの小型の品種で、琉球諸島に生息している。奄美大島では、
 海拔から山頂の森林で目撃されている。オスとメスは外見が似ていて、全体茶色で、黒と黄色のまだら模
 様がある。顔面は灰色で、その周りに赤茶色の羽があり、耳介状の羽毛は短く、あまり見えない。リュウキ
 ュウコノハズクは一夫一婦制で、縄張り意識が強い。巣は木のくぼみに春から夏にかけて作り、繁殖する。
 英語では elegant scops owl とも呼ばれる。

Ryukyu hawk-owl / *Ninox scutulata totogo* / Ryukyu aobazuku / リュウキュウア

オ **バ** **ズ** **ク**

日本やアジアを渡るフクロウだが、日本南部の島々で生息している。中型のフクロウのアオバズクは体長27～33cm で、顔の縁が明確ではないが、大きな黄色い目もち、耳介状の羽毛はない。濃い茶色の体には、白い胸と腹に茶色い線が走っている。主に夜行性で、ネズミや爬虫類などの小動物を食べるが、大型の飛翔昆虫も食す。